

---

# コンビニ店員見聞録

Rail

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

コンビニ店員見聞録

### 【Zコード】

Z8843P

### 【作者名】

Rail

### 【あらすじ】

コンビニでアルバイトをしていると、たまにイレギュラーな客が来る

「コンビニでアルバイトを始めて、一ヶ月が経つ。仕事には大分慣れてきたけど、たまに来るイレギュラーには慣れそうにない。

今日も早速、お密さんがやつて來た。

「いらっしゃいまつ……せえ！？」

思わず声が上ずつた。

入ってきたのは真っ白い菅笠に白衣を着て、手には杖と念珠をつた首からは半袈裟を掛けた中年の男性だ。言つておくが、私の働くコンビニは関東にある。断じて四国ではない。

「先輩、お遍路さん來てますよ。見なきや損です」

私は店の奥にすばやく引っ込み、商品を出そろとしていた先輩に耳打ちした。

先輩は私の言葉に「えつ！」とばかりに顔を上げると、急いで店の方へと飛んでいった。

「先輩？」

私が出てみると、何やら先輩はお遍路さんにお詫めいたものを渡していた。

「お疲れ様です」

「ありがとうございます」

「……先輩、さつきの何ですか？」

私が言つと、先輩は呆れた顔をした。

「お前、そんなことも知らないのか。あれはコンビニ八十八ヶ所めぐつをするお遍路さんに渡す札だよ。コンビニの名前を墨で書いて印鑑を押してあるんだ」

……世間は広いなって、実感しました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8843p/>

---

コンビニ店員見聞録

2011年1月9日00時08分発行